



Hokkaido Lifelong Learning Association

ほっかいどう 生涯学習 Lifelong Learning

ホームページアドレス <http://www.hsgk.jp>

新しい自分との

出会いや発見がきっとある



(撮影地 鶴居村)

目次

●年頭のご挨拶……………	2	●私の生涯学習 社会教育としての生涯学習……………	5
●学習成果実践事業のご紹介……………	3	●随想20……………	6
●これからの生涯学習を展望して……………	4	●事務局からのお願い……………	6
●わがまちの生涯学習……………	4		



年頭のご挨拶

財団法人 北海道生涯学習協会

会長 宇田川 洋

皆様、明けましておめでとうございます。本年も当協会事業にご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

今年の干支（えと）は「巳年（みどし）」ということですが、インターネットで検索してみると、正確には「十干（じっかん）」と「十二支（じゅうにし）」の組み合わせで、今年の場合は、十干は「癸（みずのと）」、十二支は「巳（み）」なので、干支は「癸巳（みずのとみ）」となるようです。

「巳」の本来の読みは、「し」。原字は頭と体ができかけた胎児を描いたもので、子宮が胎児をつつむさまを表す「包」の中と同じで、十二支の「巳」は、植物に種子ができはじめる時期と考えられているようです。また、『漢書・律歴志』では、「止む」の意味の「巳」とし、草木の生長が極限に達して次の生命が作られはじめる時期と解釈しています。これを「ヘビ」としたのは、庶民に十二支を浸透させるため動物の名前を当てたようで、順番や選ばれた理由は定かではないようです。

「ヘビ」は体の成長に合わせて、脱皮をします。国の天然記念物でもある山口県岩国市の白ヘビは、最初の脱皮を生まれてから2週間目くらいに行ない、その後は成長の早さ（栄養の状態）により脱皮を繰り返し、脱皮の回数が多いものは1年に3～4回くらい繰り返すそうです。

今年は、当協会も「公益財団法人」として新たな出発をする年でもあり、常に新しい試みを行なうなど、「脱皮」を心がけたいものです。

「道民カレッジ」は、学びたいという意志を唯一の資格とする『北海道の生涯学習の学園』として順調に進められ、多くの受講者が学びを継続しています。称号取得者も延べ1,200名を超え、なかでも1,000単位以上の学長奨励賞を受賞した方が延べ80名を超えており、これもひとえに北海道教育委員会をはじめ関係各位のご支援、ご指導の賜と、心から感謝申し上げる次第です。

人々の生涯学習は、地域に根づいたものです。当協会といたしましては、活力ある地域社会を構築するために、複雑多様化する社会情勢にいち早く対応すべく、全道各地域との連携を一層密にして、北海道らしい生涯学習社会の実現を目指し、全力で取り組んで参りたいと考えております。

皆様方の今後益々のご発展をご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

届きたい想い 伝えたい情報をカタチに。

山藤三陽印刷株式会社
sandosanyo

〒063-0051 札幌市西区宮の沢1条4丁目16-1
 [本社営業部] 代表電話 (011) 661-7163 FAX (011) 661-7173
 [東京支店] 代表電話 (03) 3518-4631 FAX (03) 3518-4633
 [苫小牧営業所] 電話 (0144) 84-5930 FAX (0144) 68-1851

地域に根ざし、福祉とビジネスの両輪を力強く回し続けます。

社会福祉法人 **北海道リハビリ**

〒061-1195 北海道北広島市西の里507番地1
TEL (011) 375-2111 (代) FAX (011) 375-4051 www.selp.net

「ほっかいどう学」学習成果実践事業のご紹介

平成23年度から新規に取り組みを開始した学習成果実践事業ですが、24年度はこれまでに2会場で実施しました。それぞれの事業の様子をお知らせします。

- ◆ 10月21日（日）函館市サン・リフレ函館を会場に、「道民カレッジ道南圏ボランティア」の皆さんが、「函館キノコの会」会長石垣充一氏の「キノコから道南の自然を見る」をテーマとした基調講演に引き続き、石垣氏のほか渡島総合振興局東部森林室樋口政弘氏と渡島保健所神田成年氏を交え、「キノコ」についてパネルディスカッションを実施しました。



道南圏ボランティアの会の学習風景

- ◆ 11月25日（日）帯広市とかちプラザを会場に、「道民カレッジ・フレンズ十勝」の皆さんが、①学ぶ②考える③変わる④動く⑤自己実現を目指す「深層生涯学習」について考える講座を実施しました。北海道大学環境健康科学研究教育センター特任教授の岸玲子氏による「環境と子どもの健康～2万人が協力する疫学研究～」、道民カレッジ5000単位取得者の榎本聡子氏による「学びたいが生きる力に」をテーマとした講演等を行ないました。




フレンズ十勝の学習風景

平成24年度ほっかいどう学検定の実施状況

第5回「ほっかいどう学検定」が平成24年10月28日（日）、石狩会場（北海道札幌南高等学校）及び石狩を除く13振興局（旧支庁）所在地と4ヶ所の委託会場並びに今回試行したジュニア検定の会場となった道立青少年教育施設7ヶ所を加えた合計25会場で実施され、一般検定では212名、ジュニア検定では111名が合格証書を手にとられました。

受験者数及び合格者数

		申込者	受験者	受験率	合格者	合格率	
一般検定	歴史・文化	入門	71	59	83.1%	45	76.3%
		上級	113	111	98.2%	87	78.4%
		小計	184	170	92.4%	132	77.6%
	自然環境	入門	67	61	91.0%	46	75.4%
		上級	43	41	95.3%	34	82.9%
		小計	110	102	92.7%	80	78.4%
合計		294	272	92.5%	212	78.0%	
ジュニア検定		132	132	93.1%	111	84.1%	



知的 快適 創造的オフィス創りで地域に貢献する
サンコー事務機株式会社
 オフィス創りを通して地域社会に貢献して42年。新たな可能性に挑戦し続けます。
 〒060-0013 札幌市中央区北13条西18丁目36番90
 TEL 011-614-2255 (代表) FAX 011-614-5245 URL <http://www.sancoh.gr.jp/>
 取扱品目
 OA機器全般の販売・レンタル、オフィス関連商品の販売、プロバイダー事業、ICT関連機器の販売、ネットワークシステムの構築、小冊子などの印刷を行うドキュメントサービス、機器システムの提案・導入・保守、基幹系業務（販売管理・給与計算・財務）等をはじめ、その他各種業務用パッケージソフト提案・導入・保守、OA機器の保守、点検、修理等、福祉機器関連商品の販売、NTT商品取扱、その他、オフィス・施設の環境をよりよくするための一切の事業

これからの生涯学習を展望して

北海道社会教育委員の会議議長

梶井祥子

(札幌大谷大学社会学部地域社会学科教授)

新しい年が明けました。今年はどうのような「学び」に出会えるのでしょうか。皆様とともに大いに期待して待ちたいと思っております。

とは言え、私の職場である大学を見渡せば、この時期に卒業を控えながら就職先が決まらない学生の表情は明るくありません。社会人としてのスタートラインが決まらないのです。「学び」が未来に接続しない。若い世代にとっては厳しすぎる現実です。

<『乗り越える力』となる学び>

「これからの展望する」ことが難しい時代になっています。何しろ、社会経済状況にしても変化のスピードが激しい。今まで経験したことのないような事件も次々と起こります。この社会はどこへ向かっているのだろうと、誰しもが漠然と不安を抱いてしまうような日常を私たちは生きています。

ここ数年に亘って、若者自立支援の活動に関わってきました。いろいろな困難を抱えて挫折してしまった人たちが再生していくには、学びなおしを通じたつながりが大変有効です。最近、ある会合で「学ぶことで負の連鎖を断ち切れた」という言葉を聞きました。本が好きだったその女性は、ほとんどの仲間が高校進学をするなかでそれを断念させられたそうです。中卒で社会に出てから猛烈に勉強し、資格を取得して自立を果たします。「多くの人に学びを支えてもらいました」と振り返る表情には社会への信頼が垣間見えました。

様々な理由で学習環境に恵まれない子どもたちに対して『学習支援ボランティア』の活動が静かに広がっています。退職された方や大学生など、地域にいる多様な世代が関わっています。学ぶことによって「困難と向き合える力」を得ること、学ぶことを通して人とつながること。そこには「学び」の切実な原点があるようにも感じます。

<言葉を掛け合う社会へ>

もちろん、社会には楽しい学び・愉快的学びもたくさんあります。そのような学びから得た言葉は、多くの人に伝えてほしいと願っています。経験や教養に満ちた生身の言葉を、若い世代はとても聞きたがっているのです。生涯学習の先にあるものは、「言葉を掛け合う社会」の実現ではないかと思ったりします。「学び」とは多様性を受け入れる寛容な気持ちと呼び起こしてくれるものだからです。学びをとおして、世代を超えた風通しいの良い人間関係を築いていけないのでしょうか。

格差社会という言葉をよく聞きますが、それはおもに経済的な格差を指しています。しかし、もっと深刻なのは「つながり格差」です。誰ともかかわらず生きていくことは不可能なのに、つながりやかかわりを持つことに躓く人々が増えています。

ともに学ぶ、学びを支える、そして、学んだ言葉を伝える…。学びによって広がる世界を、今年こそ明るく展望してみたいと思います。

わがまちの生涯学習

標津町教育委員会

標津町の生涯学習の状況

標津町は北海道の東に位置し、酪農と漁業を基幹産業とする人口約5,600人の小さな町です。標津町の生涯学習の目指すところは、子どもからお年寄りまで、多くの町民が生涯にわたり、自由に主体的な学習活動に取り組むことにより、自己の充実や豊かな人間性を育み、家庭や職場、地域全体が活性化していくことである。

標津きらり大学の概要説明

これまで町や関係機関をはじめ、いろいろな部署から多様な学習機会が提供してきました。標津町教育委員会では、それらを「生涯学習」という総合的な視点でとらえ、多様な事業に参加する町民の活動を単位認定という形で応援する「標津きらり大学」を平成22年4月にスタートさせました。町民ならどなたでも参加することができ、その人にあったペースで学習を行うことができます。町民の事業に対する参加意欲の向上と、事業の質の向上を目指しており、標津町の学びに対するレベルアップを目的としています。

標津きらり大学の事業紹介

主催事業としては、4月に開校式として、「称号授与式」と「記念講演」を行います。称号授与式とは 一定の

単位を取得した学生に対し称号を授与するもので、50単位で「標津きらり大学学士」、100単位で「標津きらり大学修士」、150単位で「標津きらり大学博士」と認定し、学長より認定証の授与を行います。

また、キャンパスライフ道民カレッジと連携し、「ほっかいどう学」出前講座を実施し、昨年度は札幌国際大学の松田忠徳教授を講師に迎え、「標津町の資源を再認識！～温泉を深く知ろう」と題し、温泉を通じた健康づくりや体づくりについて講演していただきました。現地学習では標津町の隠れた秘湯川北温泉に入浴し、効能等の説明をしてもらう予定でしたが、雨のため入浴はできませんでしたが、参加者にとっては健康を考える上で非常に意味のある事業だったと感じています。



開校式での称号授与式の模様

さらに、キャンパスライフ講座（本物大学体験）も行っているほか、町内の各施設と連携し、多種多様な事業展開をすることにより町民への学習意欲の喚起に寄与しています。

これからの発展のために

「標津きらり大学」を開校したことにより、各部署で各々行っていた事業を体系化することができました。町民にとっては年度当初に配布する事業一覧表から1年間どの時期にどのような学習をすることが出来るかを把握し、生涯学習活動への意識の向上を図ることができたと思います。これからは標津町の生涯学習の更なる発展のため、各事業を精査し、子どもからお年寄りまで活発に活動できるように更なる事業の発展を目指していきます。

（教育長 青山 信一）

私の生涯学習 社会教育としての生涯学習

（一般社団法人）ガールスカウト北海道連盟

矢代 浩子

ガールスカウトは、少女と若い女性のための世界最大の社会教育運動で、現在、世界145の加盟連盟、約1000万人の会員が活動しています。「世界連盟」があり「日本連盟」そして「都道府県連盟」があります。北海道には21ヶ団の団がありその集合体が「北海道連盟」になり活動をしています。テンドーフット（就学前1年）ブラウニー（小学1～3年）ジュニア（小学4～6年）シニア（中学1～3年）レンジャー（高校生相当年齢）となっています。



ガールスカウトは、「少女と若い女性が自己開発、挑戦、冒険を通して、リーダーシップとライフスキルを体験によって培う、ノンフォーマル教育（学校外教育）を提供する世界的な運動です。」したがって日本連盟は「少女と若い女性が自分自身と他の人々の幸福と平和のために、責任ある市民として自ら考え、行動できる人となるようにする。」を使命とし、少女たちは教育の3つのポイントにふれながら、自分に合った活動を進めていく中で、資質、能力を、高めていきます。1つ目のポイントとして「人とのまじわり」は様々な人々と共に行動し、互いを尊重する心を育てる。2つ目のポイントとして「自然とともに」は自然との調和を学び、豊かな情操を養う。3つ目のポイントとして「自己開発」自分の可能性を発見し、主体的に生きることを身につける。これらは、今日の日本の社会で一番求められていることではないでしょうか、

私達大人は成人会員となり（18歳以上は成人会員として活動できます）「リーダー」「運営員」「SCAPP」などの様々な立場があり、子供たちの活動を支えるほか、地域で役割を持ちながら、少女と共に活動をしています。（男性も「SCAPP」「運営員」として活動できます。）少女や若い女性達の成長が私たち成人の励みであり、喜びでもあります。昨今日本の女性の活躍はめまぐるしいものがあります、芸術、文化、スポーツ等、そしてこれからは経済活動の場で、政治活動の場で活躍が期待されます。「少女や若い女性たちを支え共に学ぶ」が、私達大人の使命であり生涯学習の場となっています。

随想20

旅と古酒

一昔前に金沢へ旅をした時のことである。その湯涌温泉に泊まったのであるが、旅館が10軒ほどしかない小さな温泉街であった。少し贅沢をしようと考えて、料理の美味しい宿を手配したのが戸田屋であった。加賀料理に満足したのは言うまでもなかったが、それに付きものは酒である。「地の美味しい冷酒を出してください」とお願いすると、出てきたのが、「天狗舞 古古酒吟醸」であった（このことは随想②で触れておいた）。石川県松任市車多酒造のお酒である。

「古酒」というのは、原酒をろ過して火入れした後、一定の貯蔵期間を経過した酒と言われている。普通は翌秋まで熟成させるが、この「古酒」に対しては「新酒」と呼ばれるのがある。不勉強で「古古酒」が何年寝かせたものか分からなかったが、吟醸酒なのでしつこさが無く、四合瓶は美味しい肴とともに私の胃袋におさまった次第である。熟成した古酒は爛がいいとも言われるが、私の舌には吟醸の場合はやはり冷やが美味であった。

その旅の帰りに、ある方から山形県酒田市東北

銘醸の「初孫 古酒三歳」をいただいた。原酒で18~19度のものである。とろりとしたコクのあるものであった。三歳というので三年ものなのだろうか。後で分かったことであるが、古酒は1年もの、古古酒は2年ものらしい。

北海道にも古酒は存在する。小樽市田中酒造は私のお気にいりの酒造所であるが、そこではかつて「四年古酒 寶川大吟醸原酒」というのを出していた。まったり味であるが、力強い香りと重厚な程よい後味をもっている酒で、一度は賞味を勧めたいものである。ただし、このような癖のある古酒はたくさん呑めるものではない。少しを美味しい肴とともに楽しむものである。

旅を楽しむ方法は個人差があつていろいろであると思う。自然の風光明媚に感動する人も多い。その風土で育った野菜や魚などの料理を堪能するのも良い。そこに旨い地酒があれば尚のことである。地酒はその土地の風土に支えられているので、他の地で呑んでも味が違うと感じるのは私だけではないと思っている。皆さんも良い旅を経験してください。

(財) 北海道生涯学習協会
会長 宇田川 洋

ご寄付、本年も ありがとうございます。 ございます。

・平成24年10月31日、(社)札幌ゴルフ倶楽部から、社会教育事業に対する助成として、昨年と同様に本年も、当協会に寄付してくださいました。
心から感謝申し上げます。

事務局からのお願い

- ・会員の皆様で住所が変わられた方がおりましたら、お手数をお掛けいたしますが、事務局までお知らせ願います。
- ・協会では皆様のご支援ご協力により各種事業に取り組んでおります。
つきましては、年度末を控えており恐縮に存じますが、会費未納の方は早めの納付について宜しく願いいたします。

この会報に投稿 してみませんか

- ・会員の皆様から会報に登載する記事を募集しています。
◇最近起きた出来事の紹介
◇私の主張（思い、訴えたいこと）
などを、400字以内で自由に投稿願います。

編集後記

- ・新しい年を迎え、謹んでお喜び申し上げます。
- ・昨年さまざまなことがありましたが、その年を表すことばとして、「金」が選ばれました。
- ・昨年在スポーツイベントの多い年であったことや、金環食をめぐる話題、ノーベル賞受賞など解説されておりますが、「金」は輝くという意味から、今年も「金」でありたいものです。
- ・平成24年度の各事業も残り少なくなってきましたが、「ほっかいどう学」かでの講座では、過去において北海道ゆかりの人が行ったこと、これから目指していくべきことなど、人生を送っていく上での多くの示唆があったように思います。
- ・本年も多くの道民の皆様の自発的な学習活動を支援できるよう、各種事業を推進して参りたく思っておりますので、今後とも皆様のご理解とご支援を賜りますようお願いいたします。